



第 22 回足利支部総会

1. 第 22 回足利支部総会が 6 月 19 日にニューミヤコホテルで開催されました。
2. 内規定年による役員交代で、支部長、副支部長がそれぞれ菊地義治氏、近藤啓眞氏から菊地弘氏、柳澤敏明氏に交代する提案があり、満場拍手で承認されました。
3. 足利、佐野、小山、宇都宮の 4 支部よりなる栃木連合支部が 3 月に発足しました。
4. 10 月 16 日に小山支部主催で「重粒子線による癌治療」の講演会が開催されます。

支部長挨拶

群馬大学工業会・足利支部支部長を拝命して

菊地 弘 (55E)

今年 6 月 19 日に開催された工業会・足利支部総会で支部長に任命された菊地弘と申します。さて、前任の支部長はじめ多くの先輩方の尽力により復活した足利支部ですが、この良き流れを留めることなく更に活性化するよう微力ながら尽させていただきますので、ぜひ会員の皆さまのお力添えを頂きますようお願い致します。

新支部長として、同窓生会員相互の親睦をはかるとともに、世代を越えた交流を通じて広い見識を得る機会を少しでも提供できたらと考えております。そのためには支部役員の方々ばかりでなく、会員の皆さまの忌憚ないご意見をお聞かせ頂きますして、色々な参加の仕方を選択できるような工業会を、皆さまと共に育てていきましょう。

今年度の課題としては、広い年代層からの参加をさらに促進し、あるいは会員相互のネットワークが有効に機能することを目指し、会員名簿の更新に取り組んでいきます。また、皆さまのご意見やイベントへの参加表明などを何処に連絡すれば良いかが曖昧なままでは先に進めませんので、もし連絡先がご不明な場合は、ご遠慮なく小職に直接ご連絡ください。

最後になりますが、これまで足利支部を支えて頂きました菊地支部長をはじめ役員の方々に感謝を表しご挨拶とさせていただきます。

支部長連絡先 : Email kikuchi@optoware.co.jp

支部長退任挨拶

前支部長 菊地義治 (34M)

足利支部長として、3 期 6 年勤めさせていただきました。その間、近藤副支部長をはじめ役員、会員の皆様の力強いご協力をいただき、支部活動を活発に行うことが出来ました。心から感謝申し上げます。

今期より、日本の計測業界で大活躍されている菊地弘氏へ支部長を引き継ぐことが出来安心いたしました。菊地支部長のご家庭は群馬大学一家で、奥様、息子さんも群馬大学工学部の同窓生です。また、大学と研究などで関係も深く、大学院出身の蘭軍さんも菊地弘支部長が経営するオプトウェア(株)で活躍されているのはご承知のとおりです。

伝統的な技術を基礎に、より高度な技術を求める時代になりました。足利支部の和気あいあいとした雰囲気と、新しい技術分野を目指すバイタリティーとの融合で今後の足利支部が、更に活性化することを期待し、退任の挨拶といたします。有難うございました。

平成 22 年度総会は足利支部が活動再開して以来 7 年目を迎え、内規定年制により、34 年卒 3 人が退任し、新三役に菊地弘支部長 (55E)、柳澤敏明副支部長 (55M)、片岡史男会計 (56M) が就任しました。新体制では、新三役をクラブ活動などを通じて絆づくりに貢献して頂いているベテラン役員が支えることになりました。

総会には戸叶理事長、小松原事業委員長、田中栃木県連合支部長にご出席いただき、母校の状況、工業会の発展状況と方向性についての説明がありました。会議は、ギター演奏「ラテン音楽の夕べ」で終了しました。心のほぐれた雰囲気のもと、懇親会。先輩、同輩、後輩一同がなごやかに語り合う風情は感慨深く、「足利支部はいいものだ!」と実感しました。



平成 15 年秋、本部の要請を受け、菊地義治さんが支部長を受けることになり、私は副支部長（総務担当）にと要請されました。私は昭和 34 年に中浅測器（株）足利工場に勤務しましたが、菊地義治さんとは青春時代の旅友としてのお付き合いをはじめ、啓真寮に 34M の仲間が多く、また、山紫会（34 年 M 卒・紫会）の地元開催ゴルフコンペに特別参加させてもらった親友でもあり、副支部長の要請をお断りできませんでした。さらに、工業会本部の白石弘三さん（34W）は同級生で、定年退職後、事務局に勤務しており、工業会から菊地支部長への依頼でもあり、尊重しなければならないと感じていたこともあり、それまで工業会足利支部の総会、その他の活動など、地域活動をしていなかった負い目もあり、粛々としてお受けしました。

足利支部が活動再開を宣言し、役員人選に 34 年卒を筆頭に多くの年代から役員を選抜しようという趣旨のもと、支部長には地元企業の社長として多くの卒業生に声をかけていただき、実行力のある役員構成となりました。また、第 1 回支部総会開催にむけて、役員会開催やテーマ別活動などに

役員一同尽力しました。支部活動を会員の維持会費で賄っていこうとしたことも、各役員の責務みたいな感じとなっていたかもしれません。

支部長は支部活動として、「絆づくりと継続」が大切と訴え、総務、会計、地区担当役員で、趣味のクラブ活動を立ち上げ、支部会報により支部会員への情報伝達体制が出来上がりました。あつという間の副支部長（総務担当）でしたが、各役員と各会員の皆様の支援あつての7年間を振り返り、「ひとこと」ご報告と感謝申し上げます。平成22年度、足利支部顧問として残していただき、微力ながらお手伝いをしていくことになりました。

会員インタビュー

佐賀井 武（19C）先輩を訪ねて

足利支部総会の締めは関東八州の合唱が恒例ですが、その伴奏を毎回アコーディオンで盛り上げてくださっている 佐賀井先輩（19C）を訪ねました。

緑に囲まれた小俣の山すそに建つ家に、佐賀井さんは一人気ままに暮らしている。平成元年に群馬大学工学部教授（化学工学）を定年退官し現在は名誉教授である。訪問一番、薪ストーブのあるアトリエに案内された。15号から100号までの油絵が所狭しと置かれている。若いころは画家を目指していたが、工学部なら兵役に採られない、と聞き桐生工専に入学。後述する経緯を経て、退官を待って73歳から油絵をはじめた。78歳から三年間、群馬大学の教育学部美術科に聴講生として入り、絵の研鑽を積む。その間も数々の賞を受け、86歳のいまも「一線会」の会友として活躍している。



終戦直後から始まる佐賀井さんの社会生活は波乱万丈であった。昭和電工に入社するも米軍による施設接収ですぐにクビになり、大学の無給助手に。その後、再び昭和電工に入社。アンモニア合成工場に勤務するが、18名が死亡する爆発事故に遭遇。たまたま交代番ひとつ早かったため命拾いをした。しかし会社の責任を追求するうちに赤のレッテルをはられ、同じ会社を再びクビに。会社

にいる間はコーラス部を立ち上げ、指揮者として神奈川県大会で2位入賞に導いた。また、N響の奏者に3年間バイオリンを習ったりもした。中学のころからオルガンやアコーディオンを弾いていた基礎のためか、上達著しく、ホフマン教則本5冊を完遂。



高専時代(昭和17年)、アコーディオンを弾く佐賀井さん



アトリエの薪ストーブ

その後、日本添加剤株式会社に入社。重油と燃焼の研究で業績を上げ、昭和37年、群馬大学工学部に新設なった化学工学科に講師として採用された。翌年には助教授。イギリスで一年間研修のあと、昭和50年に教授に就任。その年にエレクトーンを始めるが、さすがに忙しくなり二年後にはエレクトーンはやめ、そのまま今に至る。

音楽と絵で遊んでばかりのように見えるが、難しいといわれる化学工学の論文は100編を越え、退官後も仕事を継続し十数編あまりの論文を海外に発表している。紙面の都合でかなり省略せざるを得ないが、重みのある数々のエピソードを飄々と語り、インタビューは午前と午後、計4時間を越えてしまった。

ストーブの薪運びで怪我して以来、歩行が大変だという。しかし、まだまだ人生を楽しみそうだ。

(記：永倉功 39S)



園芸クラブの活動状況

報告者：萩原 博 (38C)

今年の8月1日に平成22年度の活動として、第一回目の実作業研修を行いました。

今回は、新メンバーの蘭軍さんの自宅の庭木の剪定作業を実施しました。

1. 参加者(敬称略)：辺見、西村、蘭軍、萩原 以上4名
2. 対象の樹木：ドウダンツツジ(高さ約1m)1本、ツゲ(高さ、直径共に約40cm)3本
3. 作業内容：①作業内容のポイント説明(紙面の都合で内容省略)
②実作業の進行状況(紙面の都合で内容省略)
4. まとめ：今回は日差しが強い天候下での作業となりましたが、蘭さんの心使いで冷たい飲物、スイカそれにソーメンまでいただき、熱中症になることもなく充実した作業体験ができたものと思います。1回の作業では、なかなかマスターまではいきませんが、何回か体験するうちに要領を掴むことが出来るものと思います。

尚、次回は槇とツゲの玉物に
(同じく蘭さん宅) 挑戦を計画
していますので、今回以上の多
数の参加を期待しております。
宜しくお願いします。



ハイキングクラブの活動状況

報告者：辺見恒也 (39C)

第5回ハイキング親睦会を6月3日に行道山～寝釈迦～大岩山～両崖山～織姫山のコースで4名の参加で行いました。当日は天気も良く、新緑の尾根道を楽しく歩くことができました。

参加者：斉藤富弥 (32TD)、吉田勝昭 (36E)、萩原 博 (38C)、辺見恒也 (39C)



★第6回ハイキング親睦会のご案内

1. 日 時： 10月25日 (月曜日) 午前9時集合
2. 集 合 場 所： 織姫神社境内の駐車場 (藤棚のところ)
3. 行 き 先： 桐生の鳴神山 (海拔 981m)
4. コ ー ス： 駒形登山口～鳴神山～柵田～赤柴～林道～駒形登山口

5. 持ち物： お弁当、軍手、雨具、水(約1リットル)

6. 登山開始： 午前10時 下山予定：午後2時30分ごろ

7. 申し込み先： 斉藤富弥(21-7812)、辺見恒也(71-7874)

なお、当日が雨天の場合は中止して、一週間後の11月1日(月)に順延します。



ゴルフクラブの活動状況

報告者：新里邦生(40TM)

第8回親睦ゴルフコンペを5月18日(火)に足利カントリークラブ 多幸コースで開催しました。天候にも恵まれ、大先輩の品田さん、永山さんはじめ13名の参加を得て楽しい一日を過ごしました。コンペ終了後はクラブハウスで表彰式と懇親会を行い、ベストスコア86で優勝した浅倉さんには支部長杯と賞金が、2位の岩下さんと3位の永山さんには、それぞれ賞金が渡されました。ワーストスコアは??さん124、平均スコアは100でした。

長い間ゴルフ部長として世話役を引き受けていただいた原田さんが今回で退任することになり、次回から新里が代わって世話役を引き継ぐことになりました。

また次回コンペ(10月に開催予定)も全員参加を期して散会しました。

新里邦生(? 0284-41-8758)



サイクリングクラブの活動状況

今年のクラブツーリングを7月24日に開催しました。当初予定では7月10日の予定でしたが、生憎の梅雨で予定を変更しての開催でした。残念ながら、日程変更で参加ができなかったメンバーもおりましたが、今回は自転車を車で運搬して、途中から目的地を目指すという初の試みを無事に終えることができました。

コースは、メンバーの蘭さん宅に集合し、同じく鎌田さん所有のキャンピングカーに5名分の自転車を積載して渡良瀬遊水地まで車で移動。その後、渡良瀬川から利根川沿いの自転車専用道路を使い、千葉県の間宿(せきやど)まで往復50Kmの行程でした。

梅雨明けとともに真夏日になってしまいましたが、幸いにも自転車走行時間を往復3時間程度に抑えたこと、間宿には立派な休憩施設があったことにより、心配した熱中症や怪我もなく、楽しくツーリングから戻ることができました。間宿には都内方面から来たサイクリストも大勢集まっていました。間宿から江戸川沿いに走り、ディズニーランド方面まで行けるそうです。帰りがけには蘭さん宅でソーメンなどをご馳走して頂き、充実した一日を過ごすことができました。また、快く車を提供して頂いた鎌田さん、自家栽培の漬物と美味しいソーメンをご馳走して頂いた蘭さんに感謝致します。

次回開催は10月末~11月初旬を予定しています。まだ、行き先などの具体案は決定しておりませんが、これを機会にクラブに参加してみようという会員の方は大歓迎ですので、ぜひご連絡ください。大勢の参加をお待ちしております。また、当クラブは「安全に楽しく」を目指し、メンバーの自由な意見を取り入れて運営しております。クラブでのツーリングコースを検討するために事前に

走ってみるといふ楽しみ方もあります。

*7月のツーリング参加メンバー：辺見、齊藤、鎌田、蘭、菊地

*群輪クラブ連絡先：Email kikuchi@optoware.co.jp

菊地 携帯電話 090-3909-3903

Yahoo! グループ <http://groups.yahoo.co.jp/group/gunrin>



工業会の現在（いま）

工業会理事 近藤眞啓（34W）

工業会理事として、「工業会のいま」を紹介し、本部との連携を図りたいと思います。

工業会は主な活動を「同窓会」中心から「大学の発展と社会への貢献」に転換しつつあります。

1. 工業会の学生支援

The Times系列誌(2008年)によれば、群馬大学は世界396位、日本23位とランクと評価されています。文科省による評価基準もあり、ランクを重視した予算配分が行われるため、大学の経営能力が問われています。工学部長以下、先生方が、日々、成果の向上に努力しています。工業会はこれを応援する目的で学生会員の国際学会出席費用や工学部の行事等に予算をつけています。

2. 事業内容とホームページの活用

工業会の年度計画に沿って、総務、会計、事業、会報、振興の五つの専門委員会が動いています。支部会報にも「工業会のいま」として経過報告していきたいと思っています。現在、専門委員会では、会員名簿精度の向上、会費納入促進、クラシックカー・フェスティバル、工業会報の充実、就職応援など進行中です。これらの活動は「群馬大学工業会」のホームページで見ることができますので、ぜひホームページを覗いてみてください。

3. 栃木連合支部発足

足利、佐野、小山、宇都宮の4支部よりなる、栃木県連合支部が本年3月に設立され、小山支部を中心に活動を開始しました。足利支部からも、大いに参加していただきたい。他支部の活動についてもホームページで見ることのできる環境が整ってきています。

足利支部における活動もホームページを立ち上げて、より一層、支部会員の情報共有がすすめば同窓会・工業会への理解と参加意識が深まると期待できます。

4. キャンパスの利用

桐生キャンパスを大いに活用し、地域の産業発展に結び付けたいと板橋工学部長と戸叶工業会理事長は、大学と工業会の連携を強調し、会員参加の事業にはぜひ、出かけてくださいと期待を寄せています。

講演会・参加者募集 「重粒子線による癌治療」

日時 10月16日(土) 15:00から
場所 JR小山駅ロブレ6階 生涯学習センター
講演者 群馬大学重粒子線医学研究センター長 中野隆史 教授
申込み 10月13日までに下記に電話、またはメールにて、
足利支部支部長 菊地 090-3909-3903
kikuchi@optoware.co.jp
(留守電になった場合は連絡先とお名前を残してください)

編集後記

役員交代に伴い会報の編集を近藤啓真氏から永倉功(39S)が引き継ぐことになりました。これまでの完成度の高い会報を続けるには荷がおもい。沢山の会員の方々の共同作業をお願いし遂行していきたいと思えます。

会報引継ぎ後の第一号は白田明(52J)さんのデザインで雰囲気が変わりました。会員の交流の場として、できるだけ多くの話題や写真を掲載したいと思っています。今回は投稿が多く寄せられ、失礼ながら文章を一部削りました。事前の準備期間が短く至らないところが多々あると思えますが、助言を頂き改善に努めたいと思えます。

会員の皆さんの、話題、旅行記や趣味のこと、俳句、スケッチ、写真、などなども気軽に投稿してください。

次号の原稿締め切りは2011年2月28日

Tel/Fax 0284-73-0327
isaonaga@02.watv.ne.jp
永倉 功 (39S)

発行日 平成22年10月6日

発行 群馬大学工業会 足利支部
発行責任者 支部長 菊地 弘